

平成18年9月20日

各 位

会社名 ロイヤルホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 今井 明夫
 (コード番号 8179 東証第一部、福証)
問合せ先 執行役員広報室長 城島 孝寿
 (TEL 03-5707-8852)

分社化（第2フェーズ）計画の変更について

当社は、平成17年11月18日付けにて、「分社化（第2フェーズ）に伴う組織変更と人事異動に関するお知らせ」を開示し、中核事業子会社であるロイヤル株式会社を再分社化することで、第2フェーズ（第2フェーズ移行の概要は別添参照）に移行する旨発表しておりますが、本日開催の取締役会において、分社化の計画について一部変更を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 変更の内容

平成18年10月1日に実施するとしていた分社化（第2フェーズ）への移行時期について、平成19年度上期中の移行に変更する。

2. 分社化（第2フェーズ）計画変更の背景

当社は平成17年7月1日付けにて、持株会社制に移行し、経営管理機能と営業執行機能を分離することで、市場環境の変化に柔軟かつ迅速に対応しうるグループ体制の構築を目指してまいりました。また平成18年1月1日からは、グループ内における分社体制を有効なものとするべく、社内分社（カンパニー制等）を実施し、実質的な第2フェーズに基づく運営をスタートしております。

これらの組織再編に伴い、分社化による各事業分野の活性化は当初予想を超えて達成できているものと評価しておりますが、一方で、追加的な見直しが必要な部分も明確になりつつあります。更なる見直しが必要な部分としては、製造部門、購買物流部門、

メニュー企画部門を始めとする外食事業部門におけるフランチャイザー機能組織が見直しの対象として挙げられており、今後、早急に分社体制に最適なフランチャイザー機能を構築する必要があると考えております。現在当社では、外食事業部門の基盤を再整備し、収益力を強化するため、外部のコンサルティング会社による調査を進めており、この結果を踏まえて、最終的な組織体制を確定したいと考えております。

以上のような状況を踏まえ、当社としましては、当初本年10月に予定しておりました第2フェーズへの移行を一時延期し、フランチャイザー機能の再編と併せて実施することが、新たなグループ体制の構築を円滑に進めるためには現状最善の選択と判断いたしました。

また、平成17年7月1日の持株会社制移行後、新体制における内部管理体制の整備を鋭意進めておりますが、更なる分社化をスムーズに進めるためには、十分なシステム対応準備も含めて、今しばらくの時間的余裕をもって進める必要があると考えております。特に持株会社制に対応する会計システムへの移行には慎重を期する必要があるため、現在その導入の準備を進めているところであります。新会計システムへの移行は、現状10月1日の導入を予定しており、その安定稼働を待つて第2フェーズへの移行を行う必要があると判断しております。

今後の予定といたしましては、フランチャイザー機能の見直しを中心とした追加的組織再編の方向性を年内に策定し、開示を行う予定です。また、追加的組織再編を含めた第2フェーズへの実際の移行は平成19年上期を目処に実施する予定です。具体的な移行の内容、時期等が確定した場合には改めて開示を行うことといたします。

以上

(別添)

分社化(第2フェーズ)に関して(平成17年11月18日付けプレスリリース抜粋)

(1) 内 容

分社化(第2フェーズ)は、中核事業会社ロイヤル株式会社が有する各事業の中で、地域特性・機能特性を評価し、最適化を目指し以下のとおり分社化する予定です。なお、社名は現段階における仮称です。

- ① 1月1日の組織変更で新設します「ロイヤル関東」「ロイヤル中部」「ロイヤル中国」「ロイヤル東北」を地域特性という観点から「ロイヤル関東株式会社」「ロイヤル中部株式会社」「ロイヤル中国株式会社」「ロイヤル東北株式会社」に分社する予定です。
これらの新設子会社は各地域において主に「ロイヤルホスト」を運営します。
- ② 同じく新設された「MEマフィン」は機能特性という観点から「MEマフィン株式会社」として分社化する予定です。
- ③ さらに、ロイヤル株式会社の中に残る「専門レストラン」を既存子会社に吸収分割する予定です。
 - いねや、モディッシュ、東京国際フォーラムを株式会社ドゥ・レストランツ・ファンに吸収分割します。
 - 焼肉万歳、毘沙門、東京ビックサイト、セントラルキャフェテリア、ロイヤルガーデンコートをロイヤルカジュアルダイニング株式会社に吸収分割します。
 - ペイオアシス店はロイヤルホールディングス株式会社の高速道路カンパニーに営業譲渡します。

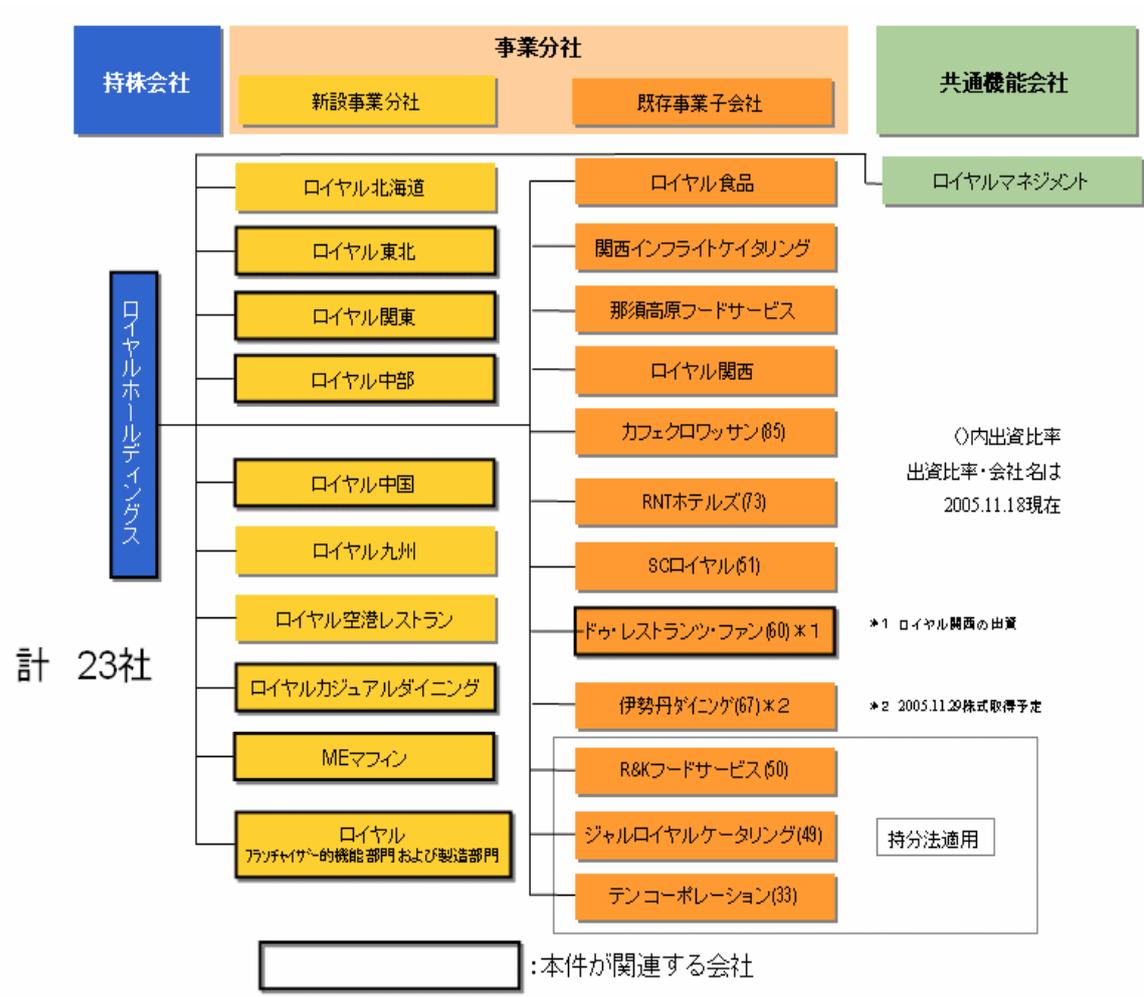
(2) 分割の手法

分割型新設分割(=人的分割)と分割型吸収分割および営業譲渡を予定しておりますが、分割の手法につきましては、今後、更なる検討を行い、決定次第、追ってご報告申し上げます。

(3) 分割期日

平成18年10月1日(予定)

(4) 分社化 (第2フェーズ) の全体像



以上